

(案)

令和2年10月 日

東金市長 鹿 間 陸 郎 様

東金市総合計画審議会
会長 久 保 田 曄

東金市第4次総合計画について（答申）

令和2年3月27日付け東企企第169号で諮問のありました掲題について、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、別紙の東金市第4次総合計画総論編・基本構想編（案）を適当であると認めましたので答申します。

なお、本審議会においては、答申をまとめる過程で様々な意見交換がなされましたが、総合計画の策定にあたって、下記の事項について特に配慮いただき、目指すべき将来像に掲げた「豊かな自然と伝統を守り 未来へ続くMy City東金」の実現に努められるよう要望いたします。

記

- 1 人口減少は、中長期的なまちづくりを考えていく際に最も大きな課題であることから、戦略的な施策を展開されるよう検討されたい。特に、東金市の次代を担う若い世代が、将来にわたり住み続けられるまちづくりに努められたい。
- 2 今後、基本計画を策定していくにあたり、東金市の特色を打ち出し活気あるまちづくりが進むような重点施策を検討されたい。その重点施策について、今後の東金市に必要な投資と考え、確実に実行するよう努められたい。
- 3 これからの行政には、以前に比べ複雑多岐な業務が求められ、行政のみの対応では限界があることから、市民と行政が目指す方向の意識を共有し、あらゆる主体による協働のまちづくりができるよう努められたい。また、市職員も発想の転換や新たな視点の意識をより高め、将来の希望が持てるまちづくりに努められたい。